

第11回常任理事会会議録

- 日時 平成20年3月17日(月)午後3時～同5時05分
場所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会長> 江藤一洋
<副会長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、高木忠雄、佐藤田鶴子、平井敏博、
土屋友幸、江里口 彰、後藤滋巳、栗原英見、
荒木孝二
第21回日本歯科医学会総会
<準備委員長> 伊藤公一
日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <常任理事> 川添堯彬、恵比須繁之、宮崎 隆

[議長 江藤会長]

1. 開 会
黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。
2. 挨拶
江藤会長から、挨拶がなされた。

(ここで、日程の一部を変更し、協議に入った。)

4. 協 議
 - 1) 常任理事の欠員による補充(1名)について
住友総務理事から、常任理事の欠員に伴う補充(1名)について諮られ、
日本矯正歯科学会の役員交替に伴い理事の変更が出され、全会でこれを承認した。
新常任理事：後藤滋巳(愛知学院大学歯学部)
 - 2) 理事の業務分担について
住友総務理事から、理事の交替に伴う、役員業務分担の変更について諮られ、
原案どおり決定した。
▷ 歯科学術用語 後藤常任理事(前任者：相馬常任理事)

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告（平成 20 年 2 月 8 日～平成 20 年 3 月 16 日）
- 第 10 回常任理事会会議録（平成 20 年 2 月 8 日開催）

2) 第 21 回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、準備状況報告がなされた。

3) 国際歯科研究学会日本部会（JADR）理事会報告

黒崎副会長から、次の資料に基づき、報告がなされた。

- 2008 年度第 1 回 JADR 理事会（2008 年 2 月 18 日開催）

4) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

- 学会会計収支計算書（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）
- 第 21 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書
（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

5) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

- ▶「歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会」（厚生労働省）の報告について

江藤会長から、一般臨床家のための歯科診療用のガイドラインの方向性を検討する会議で、4 月中旬に厚労科研で成果が発表されるので、5 月頃から日本歯科医学会が各専門分科会と協議に入る予定であると報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

なし。

(3) 学会機構改革の推進

なし。

(4) 専門医制度の確立

- ▶広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について

なし。

(5) 国際交流の推進

①日中歯科医学大会 2008 大会長の就任について

江藤会長から、日中歯科医学大会 2008 大会の大会長を就任について日本歯科医師会の大久保会長にお願いし承諾された資料に基づき報告がなされた。

②日中歯科医学大会 2008 後援ご依頼について (回答)

江藤会長から、日中歯科医学大会 2008 後援依頼任について財団法人 日中医学協会より後援名義使用の承諾を得たと資料に基づき報告がなされた。

6) 理事・評議員・各種委員会委員の交替について

住友総務理事より標記について日本矯正歯科学会、日本歯科理工学会および日本歯科医療管理学会からの資料を基に報告され、これを全会承認した。

(1) 日本矯正歯科学会

(理 事)

新：後藤 滋巳 (愛知学院大学歯学部)

旧：相馬 邦道 (東京医科歯科大学)

(評議員)

新：飯田順一郎 (北海道大学)

石川 博之 (福岡歯科大学)

森山 啓司 (東京医科歯科大学)

旧：高田 健治 (大阪大学)

飯田順一郎 (北海道大学)

後藤 滋巳 (愛知学院大学歯学部)

(予備評議員)

新：氷室 利彦 (奥羽大学歯学部)

末石 研二 (東京歯科大学)

旧：山口 秀晴 (東京歯科大学)

槇 宏太郎 (昭和大学歯学部)

(2) 日本歯科理工学会

(評議員)

新：中畷 裕 (明海大学歯学部)

旧：平野 進 (鶴見大学歯学部)

(3) 日本歯科医療管理学会

(予備評議員)

新：尾崎 哲則（日本大学歯学部）

旧：滝内 春雄

(学術用語委員会委員)

新：尾崎 哲則（日本大学歯学部）

旧：北村 中也

7) 医道審議会医道分科会診療科名標榜部会報告

住友総務理事から、標記について資料に基づき報告がなされた。

8) 「小児保健法」に関するご依頼について

江藤会長から、標記について資料に基づき報告がなされた。

9) ビスホスホネート系薬剤と顎骨壊死に関する情報提供について

住友総務理事から、標記について資料に基づき報告がなされた。

今回、新しいリーフレットと冊子が製薬団体から送付されたので、専門分科会、認定分科会、歯科大学（歯学部）へ送付し、再度、情報提供を行うこととした。

10) 2008年「歯の健康シンポジウム」への後援名義使用について

住友総務理事から、標記について資料に基づき報告がなされた。

11) 会長報告

江藤会長から、日本歯科医師会第160回代議員会・第12回理事会等における報告事項および協議事項について報告がなされた。

4. 協 議

3) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

なし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶医療ニーズの高い医療機器に関する要望書の提出について

江藤会長から、標記について資料に基づき報告がなされた。

(3) 学会機構改革の推進

なし。

(4) 専門医制度の確立

住友総務理事から、標記については、現在、歯科インプラントについて日本口腔インプラント学会からの申入れに対して審議中との報告がなされた。

(5) 国際交流の推進

なし。

4) 事業計画の推進

(1) 平成 19 年度認定分科会助成金について

住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、認定分科会への助成金について 15 万円、分担金 5 万円、差し引き 10 万円を交付することが全会承認された。

(2) 倫理委員会の設置について

住友総務理事から、標記について説明され、具体は今後の常任理事会で協議することで継続審議とした。

(3) 平成 20 年度プロジェクト研究のテーマについて

住友総務理事から、標記について説明され、研究テーマ 3 題のうち、1 題を「電子カルテ化に対応した診療録」とし、残り 2 題については、専門分科会、認定分科会、日本歯科医師会および都道府県歯科医師会よりテーマを公募する。

なお、研究担当者は、前回同様に専門分科会および認定分科会に依頼することを全会了承した。

(4) ビスホスホネート系薬剤投与患者への歯科治療対応検討会委員の推薦について

住友総務理事から、標記について資料に基づき報告がなされ、全会承認された。

(5) 財団法人 8020 推進財団理事への就任について

住友総務理事から、標記について諮られ会長に一任することとした。

- (6) 8020 運動 20 周年記念事業実行委員会委員への就任について
住友総務理事から、標記について諮られ会長に一任することとした。
- (7) 有限責任中間法人学術著作権協会理事・監事の推薦について
住友総務理事から、標記について諮られ会長に一任することとした。
- (8) 「メタボリックシンドローム撲滅運動キャンペーン」第三年度への後援名義貸与について
住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、後援名義貸与を承認した。
- (9) 第 2 回よい歯と食育大賞授賞式への後援名義貸与について
住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、後援名義貸与を承認した。
- (10) 第 49 回日本歯科医療管理学会への後援名義貸与について
住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、後援名義貸与を承認した。
- (11) 社団法人日本補綴歯科学会第 117 回学術大会ご後援のお願い
住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、後援名義貸与を承認した。
- (12) 役員派遣について
住友総務理事から、役員派遣について諮られ、会長に一任することとした。

▶別紙参照

5) その他

次回、第 1 回常任理事会：4 月 18 日（金）午後 3 時より開催することを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。